

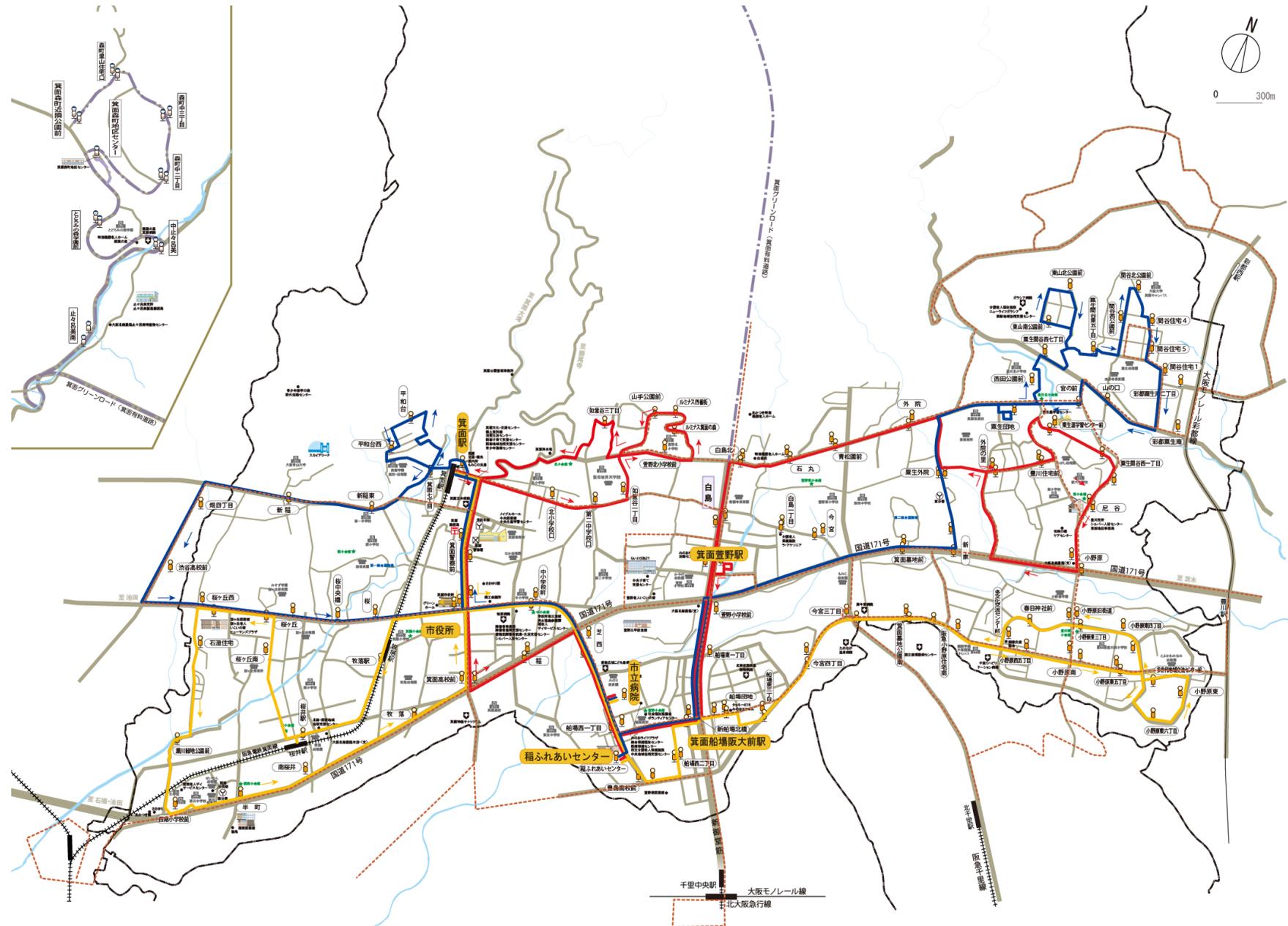
参 考 資 料

1. 第3回分科会のふりかえり (P2~P9)
2. 市民説明会の意見および提案 (P10~P13)
3. 彩都、青松園地域におけるバスサービスエリア図 (P14~P16)
4. 利用促進に関する分科会でのアンケート結果 (P17~P18)

1. 第3回分科会のふりかえり

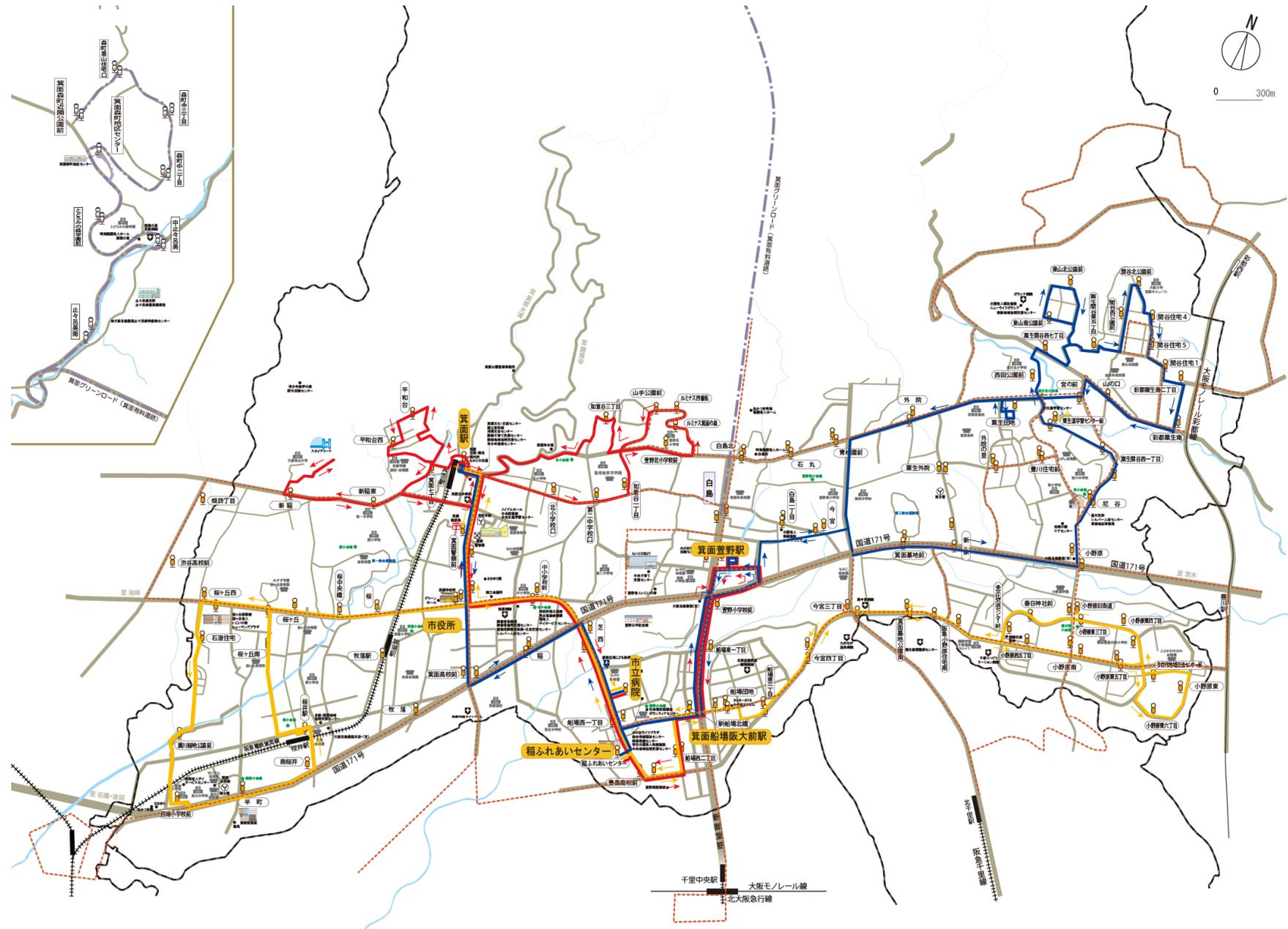
1. 第3回分科会のふりかえり

◇第3回分科会で検討した「再編ルート案1」



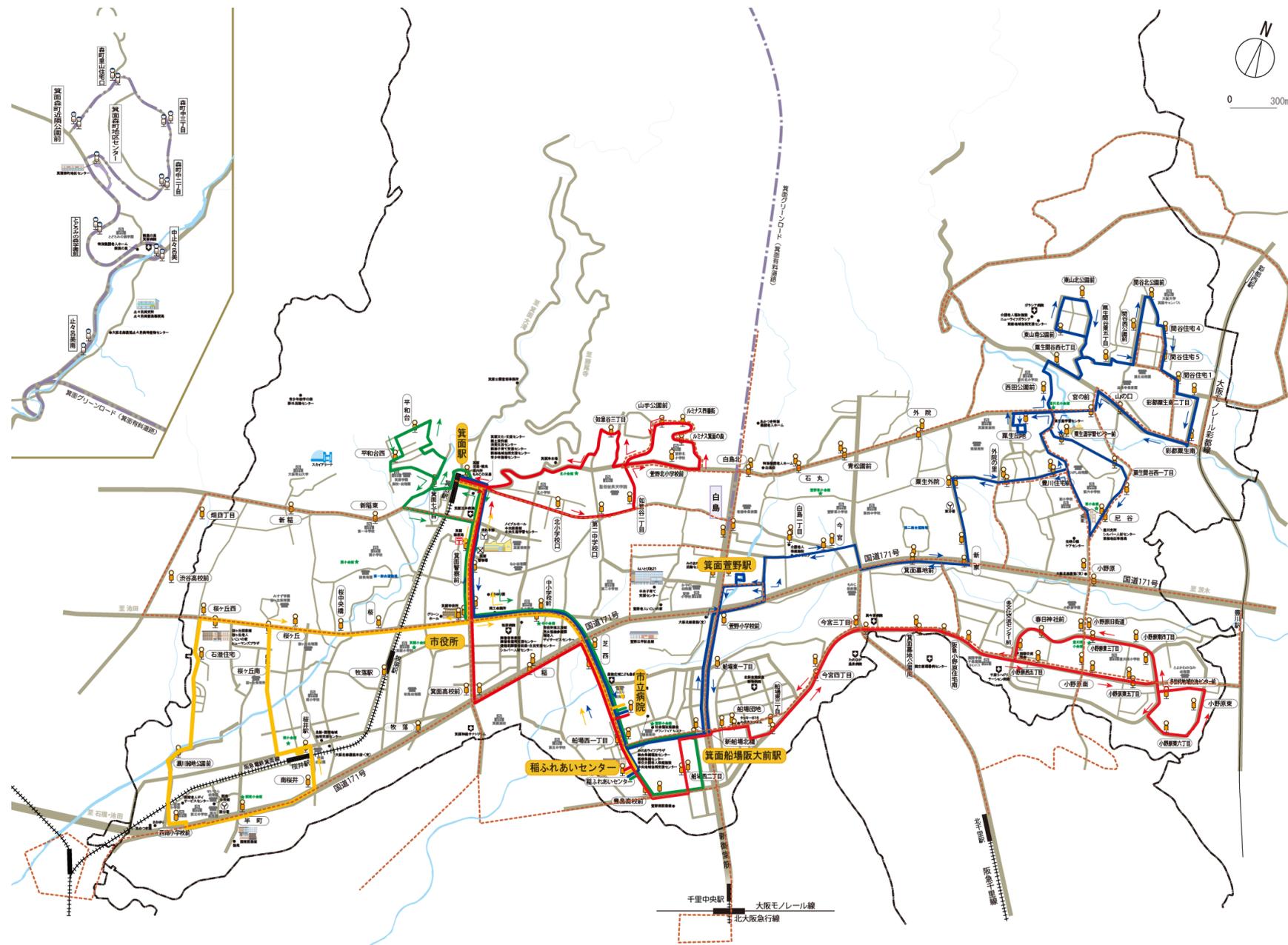
1. 第3回分科会のふりかえり

◇第3回分科会で検討した「再編ルート案2」



1. 第3回分科会のふりかえり

◇第3回分科会で検討した「再編ルート案3」



1. 第3回分科会のふりかえり

◇再編ルートの詳細検討（各班の意見）

班	ルート	選んだ理由
A班	案1	<ul style="list-style-type: none"> ●現行ルートが循環型の観点からよくできている。（乗り換える必要がなく高齢者等にやさしい） ●案2、案3は時間の制約や車両数の問題から現在の利用者への影響が大きい。 ●青ルートを国道171号ではなく北側の中道を通ることで、影響人員が減る。 ●国道171号は混雑するため避けた方が時間短縮にもなる。 ●ただし、赤ルートとの兼ね合いにも注意が必要。
B班	案3	<ul style="list-style-type: none"> ●ルート分割で、各ルートの循環時間が短く、現状より改善されている。 ●案3はバスが来ない地域をカバーしている。 ●アンケート対象者が現在の利用者であれば、満足度が高いのは当然である。 ●利用していない人のニーズも含めると、満足度が高いと判断することはできない。 ●時間・距離の安定性が確保されており、コミュニティバスとしては高評価である。 ●案1は阪急バスと重複する部分が多い。
C班	案1	<ul style="list-style-type: none"> ●多くの利用者が乗り換えなく利用でき、時間がかかっても目的地に着実に着ける。 ●青ルートを萱野東西線を使って、箕面萱野駅を通ったルートに変更する。 ●国道171号は混雑するので避けた方がよい。 ●スカイアリーナを通るルートを組み込む必要がある。 ●市役所前が非常に混雑し時間が読めないため、渋滞解消を目指す必要がある。
D班	案1	<ul style="list-style-type: none"> ●現行のルートに市民は満足しているため、大きな変更は必要ない。 ●青ルートについて、国道171号を通ると渋滞につながる。 ●案1の赤ルートが通るかやの中央～外院間を現状通り青ルートが通過すれば良い。 ●案3の緑ルートのような短距離路線を追加採用してほしい。（平和台周辺） ●箕面萱野駅が開業することで状況が一変する。 ●黄ルートも箕面萱野駅へのルート設定の検討必要である。
E班	案1	<ul style="list-style-type: none"> ●青ルートについて、新家～外院の区間が道が狭く危険である。 ●赤ルートとあわせてルートを見直す必要がある。 ●黄ルートについて、牧落駅～桜ヶ丘の区間は道が狭く危険である。 ●住民の意見としては路線バスでカバーできない区間なので移動手段は確保したい。 ●案2のスカイアリーナ経由は良いので、案1のルートに追加してほしい。 ●小野原東～東生涯学習センター・豊川支所へのアクセスルートを確保してほしい。

1. 第3回分科会のふりかえり 彩都地域を含む再編ルート of 検討結果 (第3回分科会資料から再掲)

検討の背景

- ・ 現行のオレンジゆずるバスは彩都地域を運行しておらず、分科会において彩都地域を含むルートの新設（延伸）及びバス停の新設を求める意見があったことから、彩都地域を含む再編ルート案の検討を行った。

彩都地域を含む再編ルート案の検討

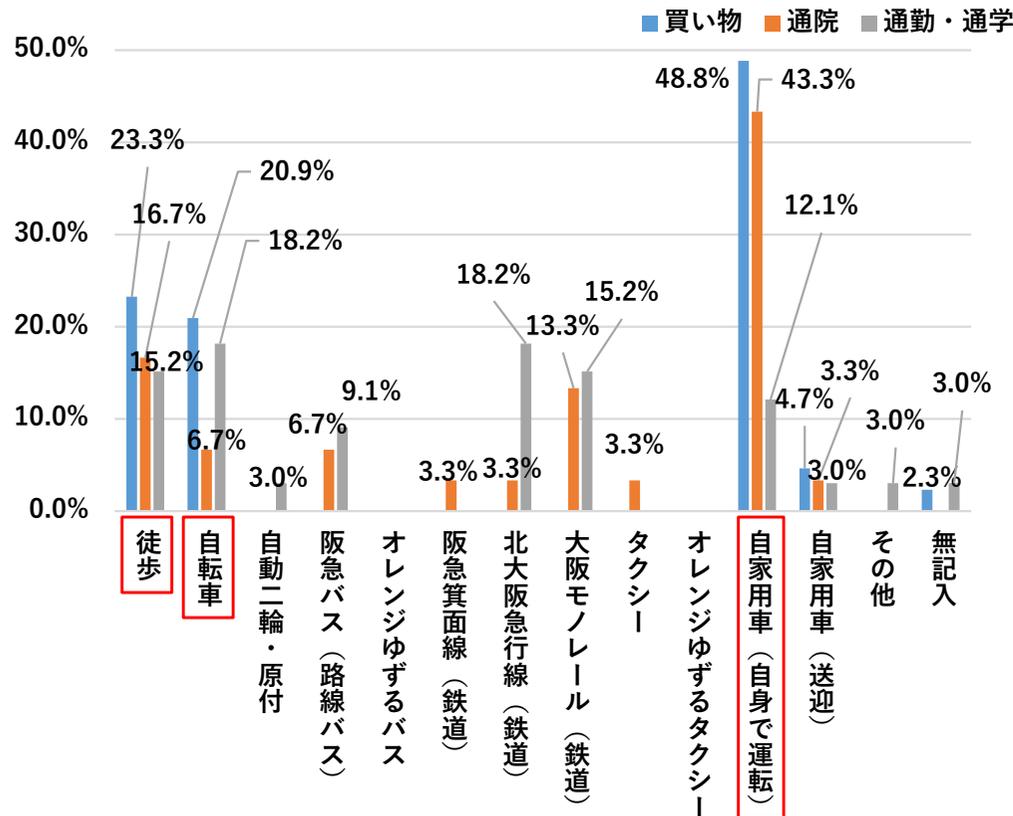
① 彩都地域におけるオレンジゆずるバスの利用需要

- ・ 彩都地域における外出時の交通手段 (市民アンケート調査より)

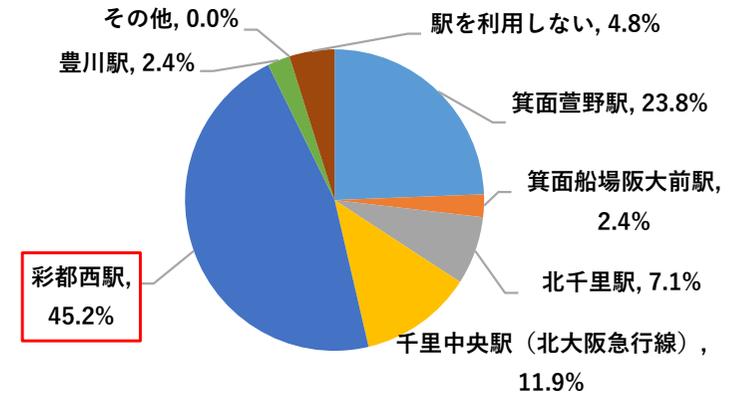
外出時の交通手段について、買い物や通院では、「自家用車（自身で運転）」が半数近くを占めており、通勤・通学では徒歩、自転車、鉄道（北大阪急行線、大阪モノレール）の割合が高く、通勤・通学時に利用する鉄道駅では彩都西駅の利用が最も多い。

また、北大阪急行線の延伸開業後においても、彩都西駅の利用意向が最も高く、鉄道駅までの交通手段では徒歩の割合が最も高い。

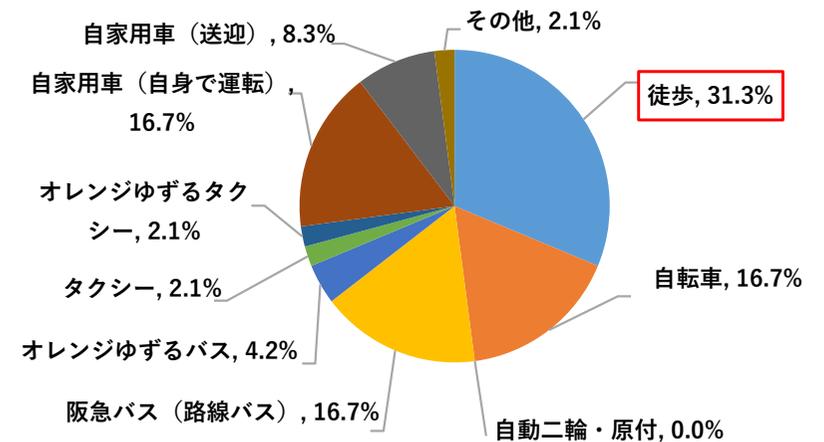
【買い物、通院、通勤・通学での交通手段】



【彩都地域における北大阪急行線延伸開業後の利用駅】



【彩都地域における北大阪急行線延伸開業後の利用駅への交通手段】



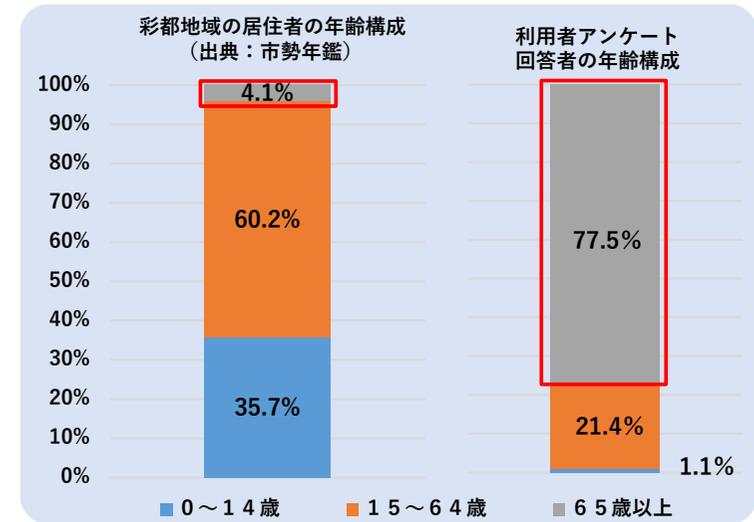
1. 第3回分科会のふりかえり 彩都地域を含む再編ルート of 検討結果 (第3回分科会資料から再掲)

①彩都地域におけるオレンジゆずるバスの利用需要

・彩都地域の居住者とオレンジゆずるバス利用者の比較

彩都地域の居住者の年齢構成において、65歳以上の割合は4.1%と低い。一方、オレンジゆずるバス利用者は65歳以上の割合が7割以上を占めている。

以上から、彩都地域については若い世代の居住者が多く、彩都西駅の徒歩圏及び自転車圏に立地していることから、日常での移動手段としてのオレンジゆずるバスの需要は他の地域と比較すると低いと考えられる。



②現行ルートの利用者への影響

彩都地域を含むルートを設定するには、現行のバスルートの一部変更あるいは削除する必要が生じる。本検討においては、現在のオレンジゆずるバス利用者のうち粟生間谷地区の72人が現在と同じような利用ができなくなる等の影響が生じる可能性がある。

③路線バスとの役割分担

彩都地域では路線バスが運行しており、路線バス再編後は彩都線と北大阪ネオポリス線の増便や彩都西駅～箕面駅行系統の新設が予定されており、路線バスによって市内東西移動の利便性が向上される。

(結果) 彩都地域については、若い世代の居住者が多く、他の地域と比較するとオレンジゆずるバスの利用需要が低いと考えられる。また、路線バス網の再編により、市内の東西移動の利便性が確保されることや、現行ルートの利用者への影響を踏まえると、**彩都地域を含むルートは設定せず、オレンジゆずるバスと路線バスとの乗り継ぎ割引について、箕面森町線と同様に設定する方向で検討する。**

2. 市民説明会の意見および提案

2. 市民説明会の意見および提案

市民からの質問・意見・提案概要

東部南地域（多文化交流センター講座室A・B）11月8日（火曜日）

- 土曜日は遅延が度々発生する
- 計画の策定時期および再編ルートの実施時期について
- 令和5年3月のパブリックコメントと同時に行う説明会の内容は

東部北地域（東生涯学習センター講座室）11月9日（水曜日）

- 所要時間の縮減とあるが、広く市民の移動を担うのがバスの役目では
- 粟生団地と小野原がつながらなくなる
- 路線バスとオレンジゆずるバスの運賃は同じか（同じ割引があるか）
- オレンジゆずるバスは路線バスを補完する役割のはず
- 路線バスが通らず、道路勾配も大きい青松園の住宅地にオレンジゆずるバスを通すべき
- 青ルートが箕面萱野駅へアクセスしないのはおかしい
- 路線バスとの役割分担では、重複して運行しているルートもある
- 箕面萱野駅にもアクセスするルートを検討してほしい
- 市立病院移転後は、青ルートが便利になると思う
- 彩都地域の観点が説明に入っていない
- 彩都地域への運行も含め、間谷住宅内のバス停をもっと北へ設定するなど、検討願いたい
- バスの運行台数を増やせば、所要時間も気にしなくてよくなるし、青松園など、足りない地域にもサービスできるようになるのでは
- 赤ルートの今宮交差点の信号現示を変更すれば所要時間の改善にも繋がるのでは

2. 市民説明会の意見および提案

市民からの質問・意見・提案概要

中部地域（総合保健福祉センター2階大会議室）11月10日（木曜日）

- 現在のオレンジゆずるバスは、3つのルートが通っていても、ダイヤが同じ様な時分に集中しており、使いづらい
- 等間隔なダイヤ設定などを考えてほしい
- 赤ルートの東側が一方通行になると、小野原へも行けなくなるし、東生涯学習センター・東図書館へも片道しかバスを使えなくなり非常に不便
- 箕面萱野駅や箕面船場阪大前駅のバス停はどうなるのか
- 箕面警察前バス停に以前はベンチがあったが撤去された
- 白島についても環境が不十分
- 高齢者の利用も多いことから、待機環境の整備が必要では
- 青ルートについて、171号を運行するルートになっており、時間が縮減されないのでは
- 間谷住宅内も循環型の一方通行で、買い物などの際に往復利用できない
- 再編にあたっては、そういった細かな不便を解消することを検討すべきでは
- 粟生間谷などでグリーンスローモビリティなどは検討しているのか
- バスロケシステムは非常に便利だが、運行状況が出ていない時がある
- ルートやダイヤの変更は、混乱のないよう積極的に広報してほしい
- パブリックコメントの実施にあたっては、無料利用デーなどを設定し、バスを利用した上で意見を受けるようにしてはどうか

西部地域（中央生涯学習センター講座室）11月11日（金曜日）

- 現在のダイヤでは、夕方のイベントの際には、帰りにオレンジゆずるバスを利用できない
- リニューアルされた教学の森の麓にバス停を作るなど検討してほしい
- 土日祝も平日と同じルートになるのはありがたいが、渋滞による遅延が心配
- 若い世代を取り込むための施策が必要、この視点で取り組んでほしい
- 若い世代にも利用してもらうためには、通勤・通学に使えるようにする必要があるが、特に夕方が利用しづらいことについてはどう考えるのか
- オレンジゆずるバスの運行経費の内訳を教えてください
- 高齢者運賃割引はありがたいが、より便利なバスにするために運賃を値上げすることは難しいか
- 運行を継続していくための赤字の限界点などの指標はあるか
- 現在も収支率は50%を切っているが、どう改善するという発展性がない
- 進捗に応じたパターン別のプランなどは設定しないのか
- 運行経費の内訳について、今後、公表していく予定はあるか

2. 市民説明会の意見および提案

市民からの質問・意見・提案概要

中部地域（みのお市民活動センター多目的室）11月13日（日曜日）

- 箕面駅～市立病院の区間で利用者が多く、高齢者でも座れない
- 混雑緩和のため、当該区間に新たなルートを設定することはできないか
- 北急延伸後は箕面萱野駅が中心となっていくはずだが、オレンジゆずるバスは現行どおり箕面駅が中心のままとなっている
- 学生や通勤の取り込みが必要と考えるが、そのためには現在の運行時間をより幅広くする必要があるのではないか
- 箕面萱野駅にバスロータリーができるが、オレンジゆずるバスのバス停はどうなるのか
- 再編案では小野原から箕面萱野駅へアクセスできない
- オレンジゆずるバスは路線バスを補完する役割で、路線バスのないところを運行すると言いながら、通勤・通学については路線バスの役割とするのは整合がとれていない
- 赤ルートの東側が一方通行のルートになる
- わかりやすさのためには双方向（往復）での運行とすべきではないか
- オレンジゆずるバスを利用していない人へのアンケートは実施したのか
- 高齢者割引の100円という運賃が、再編の大きなネックとなっているのではないか
- オレンジゆずるバスサポーター店について、宣伝もあまりされていないし、既に閉店した店の情報なども残っている
- 路線バスは大型バス、オレンジゆずるバスは小型バスという特性を踏まえて路線設定できないか
- 箕面今宮線は道路幅員が狭く、小型バスの方が運行しやすい
- 箕面市役所～箕面駅間はスーパーマーケットや郵便局の利用者が多く道路が大変混雑している
- 市立箕面駅前第二駐車場は利用が少なく見えるので、第二駐車場前に信号および横断歩道を設定すれば、スーパーマーケットへ行く人が第二駐車場へ停めることもあり、混雑が緩和されるのではないか

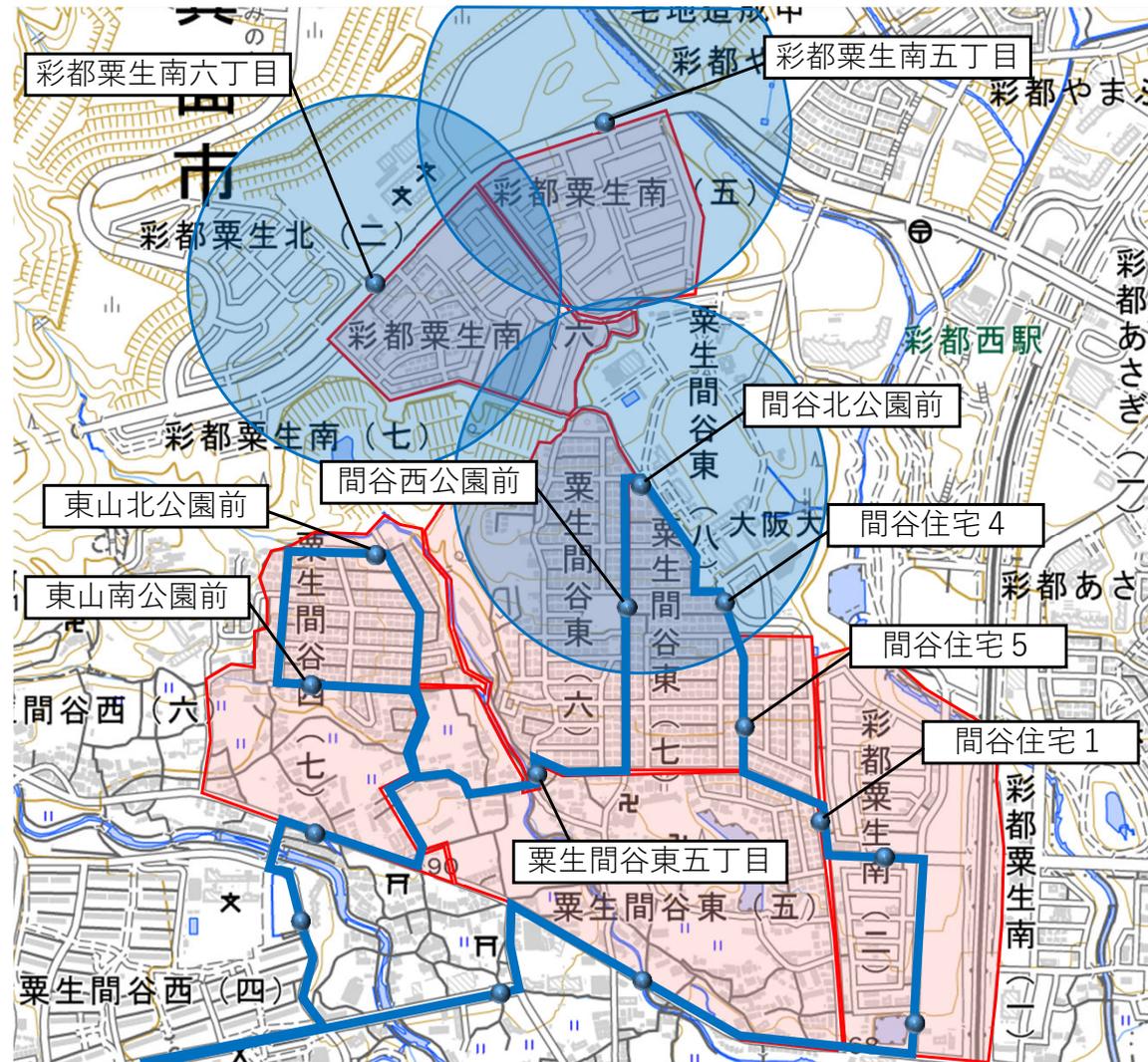
北部地域（とどろみの森学園地域開放室）11月14日（月曜日）

- 路線バス（箕面森町線）とオレンジゆずるバスの乗継割引は知らなかった
- 乗継割引のことはもみじだよりなどに掲載されているのか
- 今回説明された再編案はこれが決定事項ということか
- 本日の説明内容は自治会でも共有する
- 検討にあたっては箕面森町を除外しないよう配慮してほしい

3. 彩都、青松園地域における バスサービスエリア図

3. 彩都、青松園地域におけるバスサービスエリア図

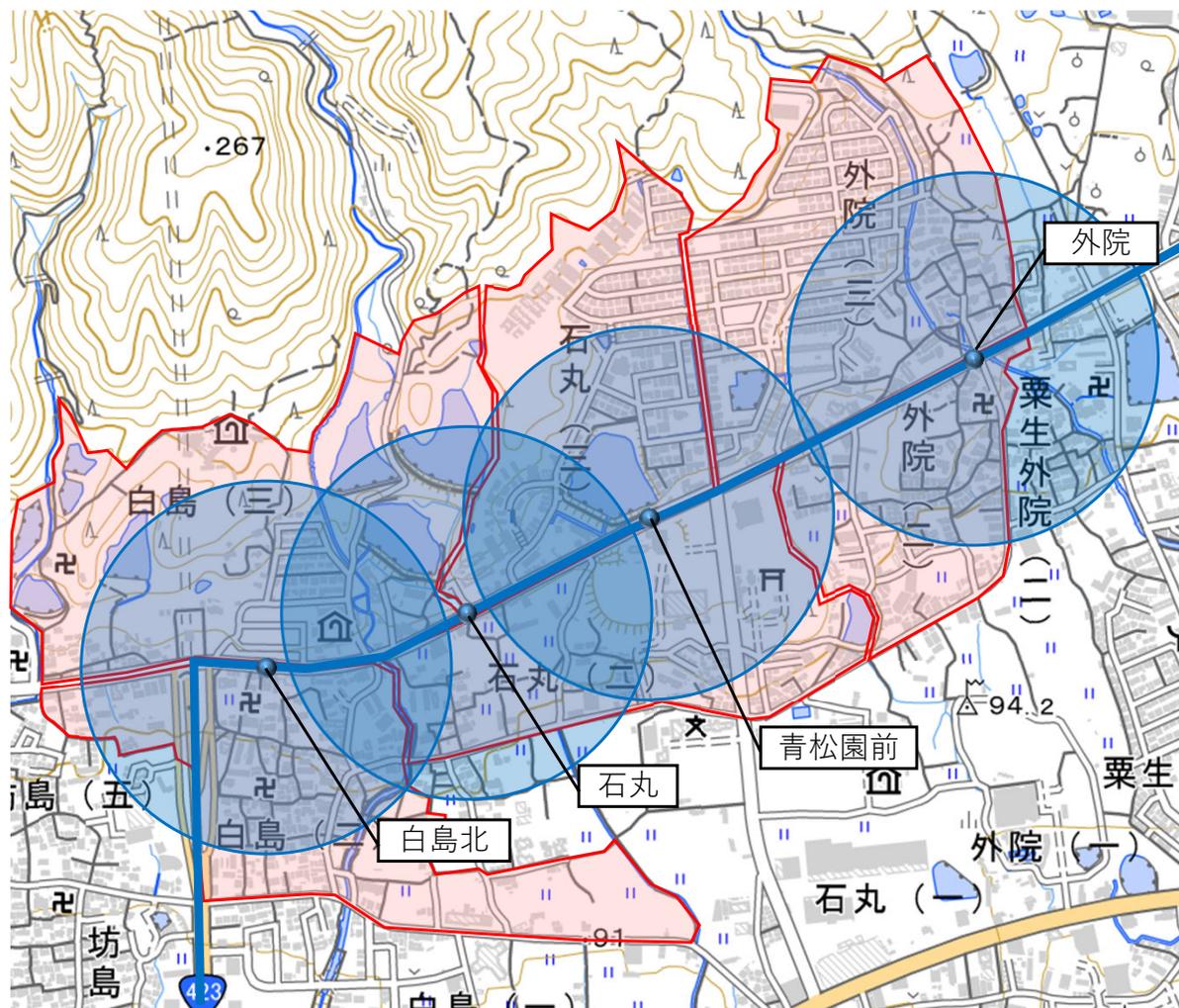
◇彩都地域における現在のバスサービスエリア図



※サービスエリアは、バス停から半径300mとして設定

3. 彩都、青松園地域におけるバスサービスエリア図

◇青松園地域における現在のバスサービスエリア図



※サービスエリアは、バス停から半径300mとして設定

4. 利用促進に関する 分科会でのアンケート結果

3. 利用促進策

◇分科会参加者アンケートにおける利用促進策の記述内容

【利用者層の拡大】

- 新たな年齢層の利用拡大
- 若い人達、子ども連れの方が利用できるメリット
- 若者、中年者向けの利用者アンケート
- 若い世代の利用促進につながる沿道店舗とのタイアップ
- 子育て世代や子ども同士でも気軽に利用できる仕組み
- 子育て世代等の利用促進策の検討
- 子ども、若い人が乗りにくい
- 若い世代にも利用しやすい環境づくり
- 子ども、家族を含めた幅広い人々の利用

【経済的利用促進策】

- 交通税の導入
- 無料日の設定
- 公共交通利用の優遇措置
- 乗り継ぎ割引の検討
- ポイントカード制度の導入

【運行サービスによる利用促進】

- 路線バスとの棲み分け
- 市内でのイベント・お祭りなどに合わせた増便
- 土日祝も同じルートで運行
- シーズン観光路線の運行
- オレンジゆずるバスの増便、増台、小型
- 定時運行を安定的に続ける仕組み

【福祉的な利用促進】

- 高齢化に対する住民の意見の取り入れ
- 高齢者にやさしく利用しやすいコミュニティバス
- 交通の便の悪い地域の高齢者へのサービス

【利用促進に係るソフト対策】

- 定期的な見直し検討
- 今ある公共交通サービスの周知
- 市民のコミュニティバスという意識の醸成
- 利用者の声の紹介
- 地域別分科会の開催
- PR・宣伝
- イベントの実施
- 体験乗車会の開催
- オレンジゆずるバスの維持に対する市民意識の醸成
- イベント情報と広告などをバス内に掲示
- 市民の利用頻度の偏り

【利用環境の向上】

- 気軽に乗り降りできる停留所